

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.7
Q1 室内環境					0.40		-		3.6
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00		3.0
1.1 室内騒音レベル		<病室>35<騒音レベル≤40		3.0	0.40	4.0	0.40		
1.2 遮音				3.2	0.40	3.1	0.40		
1 開口部遮音性能		<共用><病室>T-2		5.0	0.40	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能		-		2.0	0.60	2.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-		-	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-		-	-	2.0	0.20		
1.3 吸音		-		3.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境				3.5	0.35	3.4	1.00		3.5
2.1 室温制御				3.7	0.50	3.0	0.50		
1 室温		-		3.0	0.38	3.0	0.57		
2 外皮性能		-		3.0	0.25	3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性		<共用>細やかな空調ゾーニング		5.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御		<共用><病室>50%の湿度を実現する設備容量を確保		4.0	0.20	5.0	0.20		
2.3 空調方式		-		3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				3.1	0.25	4.6	1.00		3.2
3.1 昼光利用				1.8	0.30	4.2	0.30		
1 昼光率		<病室>昼光率≥1.25%		1.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口		-		-	-	-	-		
3 昼光利用設備		-		3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				3.0	0.30	5.0	0.30		
1 昼光制御		<病室>ブラインドと庇でグレアを制御		3.0	1.00	5.0	1.00		
3.3 照度		<病室>150lx≤照度かつ壁面の鉛直面照度100lx以上		3.0	0.15	4.0	0.15		
3.4 照明制御		<共用>自動照明制御<病室>細やかな照明制御		5.0	0.25	5.0	0.25		
4 空気環境				4.3	0.25	4.2	1.00		4.3
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		建築材料は、告示対象外の建材及びJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				4.5	0.30	4.6	0.38		
1 換気量		<共用>30m³/h人以上<病室>35m³/h人以上		4.0	0.50	5.0	0.33		
2 自然換気性能		<病室>自然換気有効面積が居室面積の1/15以上		-	-	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		<共用><病室>汚染源のない方位かつ各種排気口と6m以上離隔		5.0	0.50	5.0	0.33		
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視		-		-	-	-	-		
2 喫煙の制御		敷地内完全禁煙		5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		4.0
1 機能性				3.9	0.40	4.8	1.00		3.9
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性		<病室>個室10m²/床以上、かつ多床室8m²/床以上		-	-	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応		-		-	-	-	-		
3 バリアフリー計画		-		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30	4.5	0.40		
1 広さ感・景観		<病室>天井高2.5m		-	-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		-		-	-	-	-		
3 内装計画		建物コンセプトを反映した内装計画		5.0	1.00	5.0	0.50		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		防汚性のある仕上げ材の採用及び段差のない設計等も採用		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		清掃用具倉庫を計画、清掃用電源の設置等		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				4.4	0.30	-	-		4.4
2.1 耐震・免震・制震・制振				5.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		層間変形角は1/200		5.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		免震装置を導入		5.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		-		3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		-		2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:ビニル床シート、壁・天井:ビニルクロス・化粧シート		5.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外露出:ガルバリウムダクト、厨房・高湿系:ステンレスダクト		5.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:PEP(B)、排水:VP(B)、冷媒:CUP(C)、Eの使用なし		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		-		2.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				4.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		重要室の非常時空調運転の採用等		5.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		系統区分、井水の利用等		5.0	0.20	-	-		
3 電気設備		非常用発電設備及び無停電電源設備の設置等		5.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		-		3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		防災無線の設置、ネットワーク機器用の無停電装置の設置等		5.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.6	0.30	3.8	1.00	3.6
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	4.6	0.50	
1	階高のゆとり	3.9m以上	5.0	0.60	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		—	3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40			
1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20			
2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20			
3	電気配線の更新性	ケーブルラック、レースウェイ、配管配線により仕上材を傷めず更新、修繕ができる	5.0	0.10			
4	通信配線の更新性	ケーブルラックおよび配管配線により仕上材を傷めず更新、修繕ができる	5.0	0.10			
5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			—	0.30	-	-	3.7
1	生物環境の保全と創出	自生種の採用や屋上緑化による生物環境の創出	4.0	0.30	-	-	4.0
2	まちなみ・景観への配慮	—	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		4.5	0.30	-	-	4.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	備蓄倉庫を計画し災害対応に配慮	5.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	日影や緑地の形成による暑熱環境の緩和	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			—	-	-	-	4.1
LR1 エネルギー			—	0.40	-	-	4.5
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.84	4.6	0.20	-	-	4.6
2	自然エネルギー利用	—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI _m =0.50	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用		4.0	0.20	-	-	4.0
	集合住宅以外の評価		4.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	用途別エネルギー消費及びシステム効率の把握・検証	5.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			—	0.30	-	-	4.0
1 水資源保護			4.4	0.20	-	-	4.4
1.1	節水	衛生器具の過半に節水器具を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		4.7	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	井水利用率: 66%	5.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	ぬく水の水抜きを冷却塔の補給水や高温排水の冷却に利用	4.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減	高強度の鉄骨及びBCP鋼材の採用等	4.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	—	3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床:ビニル床シート・タイルカーペット 天井:岩綿吸音板	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	—	2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と内装材は容易に分離可能、かつOAフロアを採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.20	-	-	4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含まない材料を4種類採用	5.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
1	消火剤	活性ガス消火設備を採用	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWP=1以下の発泡剤を用いた断熱材を使用	5.0	0.33	-	-	
3	冷媒	—	3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			—	0.30	-	-	3.8
1	地球温暖化への配慮	CO2排出率: 56%	4.7	0.33	-	-	4.7
2	地域環境への配慮		3.5	0.33	-	-	3.5
2.1	大気汚染防止	—	3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	水冷式熱源による排熱の潜熱化	4.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ごみ分別容器的設置及び減容機器の設置等	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音	—	3.0	0.50	-	-	
2	振動	—	3.0	0.50	-	-	
3	悪臭	—	-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制	—	-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明は、発光部分及び照射範囲を点滅させない方式	5.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	4.0	4.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1.3.1 維持管理に配慮した設計	8.0		-	○	-	○	○	○	-	○	-	○	○	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	8.0		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
2.4.1 空調・換気設備	4.0		-	○	○	○	○								
2.4.2 給排水・衛生設備	4.0	4.0	○	○	○	-	○	-	-						
2.4.3 電気設備	4.0	3.0	○	○	○	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	4.0		○	-	○	○	-	○							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	12.0		2.0	-	3.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	6.0		-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0					
3.2 敷地内温熱環境の向上	12.0		-	2.0	1.0	3.0	-	2.0	-	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-	-				
2.1 材料使用量の削減	4.0		-	1.0	3.0										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	○	○	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	4.0														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	13.0		1.0	-	-	3.0	3.0	1.0	-	3.0	2.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		-	-	-	1.0	1.0	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	4.0		1.0	1.0	1.0	-	-	-	1.0						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m2K)		窓システム	-
屋根	-	外壁	-
床	-	住戸部分	窓システムU値
外皮UA値	-	η AC	-
η AH	-		

3.1.1 昼光率

昼光率 4.9%

4.2.2 自然換気性能

自然換気有効開口面積率 8.7%

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	-	/人	病床	9.4㎡/床	シングル	-	ツイン	-
--------	---	----	----	--------	------	---	-----	---

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	-	VA/㎡
---------	---	------

1.2.1 広さ感・景観

天井高 2.5 m

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース - レストスペース -

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数 - 年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔 - 年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔 20 年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔 - 年

3.1.1 階高のゆとり

階高 4 m

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率 0.173-0.18

3.2 荷重のゆとり

床荷重 - N/m2

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数 61% 建物緑化指数 9%

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 62% 水平投影面積率 13% 地表面対策面積率 43% 舗装面積率 34%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI_m 0.84 断熱等性能等級 対象外 相当

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量 - MJ/年㎡

採光を満たす教室数 - 採光を満たす住戸数 -

通風を満たす教室数 - 通風を満たす住戸数 -

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI_m 非住宅 0.50 住宅 - 太陽光 103.3kW 太陽熱等 - 蓄電池 -

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率 66.0%

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目 タイルカーペット エコマーク商品 ビニル床シート・タイルカ自治体指定品目等 -

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率 -

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 1

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP) - 地球温暖化係数(GWP) -

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比 147% 隣棟間隔指標Rw 1.76

地表面対策面積率 59.0% 屋根面対策面積率 19.0% 外壁面対策面積率 0.0%

見付面積Sb 3,099㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 160.511 m 基準高さHb 13.076 m

緑地 5,227㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡